

令和3年度

一般入学試験(前期②)問題

# 国語

(薬学部・看護学部・健康医療科学部・心理学部・国際看護学部)

## 注意事項

1. 問題冊子は、試験監督者の指示があるまで開いてはいけません。
2. 問題冊子と解答用紙(マークシート)は別になっています。
3. 解答用紙には解答欄以外に下記①～④の記入欄があるので、監督者の指示に従ってそれぞれ正しく記入し、マークしなさい。

- ① 氏名欄 氏名およびフリガナを記入しなさい。
- ② 受験番号欄 受験番号(数字および英字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。
- ③ 試験種別欄 【一般前期2日目】にマークしなさい。
- ④ 教科・科目欄 【国語】にマークしなさい。

4. 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。  
例えば、

10
----

と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の[例]のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

[例]

解答 番号	解 答 欄									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
10	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

5. 試験時間は、60分です。



# I

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から公表することができません。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から公表することができません。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から公表することができません。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から公表することができません。

かわい はやお  
(河合隼雄 『物語とふしぎ』第1章「ふしぎと人生」による。設問の都合上、本文の一部を改めた。)

(注) 1 四頭立ての金の馬車に乗った英雄 : ギリシヤ神話の太陽神、ヘリオスのこと。毎日、四頭立ての戦車を操り、天空を東から西へ横切ったといわれる。

2 CIA : アメリカ中央情報局。特に反米的団体や他国の政府の監視と、その情報の収集を主要任務としている。

問1 点線部 a～e の漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選べ。

a  
ハイジヨ

- ① ハイガンの榮いっかくに浴する
- ② 超俗的な雰ふん囲い気を醸かし出だすハイガ
- ③ ジャクハイのくせくせに何を言うか
- ④ 工場からのハイスイ

b  
ケイエン

- ① ケイグンの一いっかく鶴
- ② ケイチョウ用の礼れい服
- ③ 一足先にシツケイする
- ④ ケイクを飛ばす

c  
ケツシヨウ

- ① シュンシヨウ一刻値千金
- ② スイシヨウ婚こん式しきを祝いわう
- ③ 外交セツシヨウ
- ④ ロクシヨウの吹ふいた銅どう板ばん

d  
シユウチ

- ① 雇いい入いれをシユウセンする
- ② シユウモクの一いっ致ちするところ
- ③ 容姿ようさのビシユウは問とわない
- ④ リツシユウの候こう

e  
ギンミ

- ① ミホトケのお導みちき
- ② 観客くわんかくをミリヨウした演えん技ぎ
- ③ 名作めいさくをミドクする
- ④ 彼の實力じつりきはミチスウだ

問2 空欄 ア～オ に当てはまる語の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

① ア まさか

ア

イ あるいは

ウ たとい

エ たとえば

オ ところで

② ア まさに

イ もしくは

ウ たとえ

エ たとえれば

オ ところが

③ ア まして

イ または

ウ かりに

エ もしや

オ それはそうとして

④ ア ったく

イ あまつさえ

ウ よしんば

エ かりにも

オ それはさておき

6

問3 傍線部A『ふしぎ』なことを提供してくれるテレビ番組や催しものなど」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

7

- ① 「ふしぎ」や「おどろき」の解決に向かう姿勢が、積極的に関わりを持つべきではない大人を一時的に子どもに戻してくれるもの。
- ② 「ふしぎ」や「おどろき」の解決を自分以外の他者がやってくれ、しかも自分の好奇心を刹那的せつなながらくすぐってくれるもの。
- ③ 「ふしぎ」や「おどろき」を解決する答えはすでに用意されているため、予定調和としてのありふれた体験しかもたらさないもの。
- ④ 「ふしぎ」や「おどろき」の解決の主体を自分以外の他者に頼っているだけで、自発的アプローチがまったく欠如しているもの。

問4 傍線部B『ふしぎ』と思ったからには、自分でそれを追究していく責任がある」とあるが、なぜそういえるのか。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

8

- ① 「ふしぎ」な体験をした自分は特別な存在であると勝手に思い込み、周囲の人たちを上から見下しているだけだから。
- ② 「ふしぎ」な体験の解決を委ねる周囲の人たちから煙たがられ、それに根を持つことで生活の様式がますます暗くなるから。
- ③ 「ふしぎ」な体験を自らの問題として突きつめようとはせず、周囲の人たちに頼るぶん自分でも納得できずに終わるから。
- ④ 「ふしぎ」な体験は、それを徹底的に考え続けることが人類全体に対する偉大な貢献につながるから。

問5 傍線部C「お母さん、お母さんと言って、せみが呼んでいるんだね」と子どもが答える」とあるが、筆者はどう評価しているか。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

9

- ① みんなんぜみはミンミン鳴くからこそみんなんぜみだという、ごくあたりまえのことさえ理解できない子どもは幼稚であり、世界から孤立している。
- ② みんなんぜみがミンミン鳴くとする捉え方は普通の子どもならあたりまえのことで、それを他のありさまに言い換えるのはエキセントリックである。
- ③ みんなんぜみがミンミン鳴くさまを擬人化して捉えるさまは、その時の子どもの気持ちのありようや世界との関わりをおのずから示している。
- ④ みんなんぜみは決して「お母さん、お母さん」と鳴くはずもないのであって、空想力の強い子どもに正しい知識を植えつけようとしても困難である。

問6 傍線部D「これはどうしてだろう」とあるが、その理由として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

10

- ① 忘れがたい体験による「ふしぎ」や「おどろき」を単に外的現象の説明に終始するだけならば、説明されえない部分が多く取り残されるから。
- ② 忘れがたい体験による「ふしぎ」や「おどろき」を物語ることは荒唐無稽だとは認識しつつも、各部族や民族のアイデンティティは無視できないから。
- ③ 人は忘れがたい体験をすると「ふしぎ」や「おどろき」の感情を抱くが、その説明しがたい体験を各部族や民族のレガシーとして所望したいから。
- ④ 人は忘れがたい体験をすると「ふしぎ」や「おどろき」の感情を抱くが、その説明しがたい体験は物語ることによって初めて納得することができるから。

問7 傍線部E「神話をまったく放棄すると、自分の心のなかのことや、自分と世界とのかわりが無視されたことになる」とあるが、その

説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

11

① 近代の自然科学の方法のみによる外的現象の理解のしかたは、人間のかけがえのない「ふしぎ」な体験を十分に説明するものではない。

② 自然科学が「ふしぎ」を説明する方法として有効であるにせよ、人間にとって根本的な「ふしぎ」に答えてくれる神話には対抗できない。

③ 神話と近代の自然科学はそもそもその性格をまったく異にするものであって、内的事実の世界に両者が同時に存在することはありえない。

④ 神話と近代の自然科学、それぞれの有効性を融合させることで初めて効力が発揮されるのであり、その意味で両者は完全に対立しない。

問8 本文の内容に合致するものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

12

① 子どもと大人とを問わず、およそ人間はあたりまえの世界に生きているのであって、のちのち人類全体にたいする偉大な貢献をしたニュートンや釈迦牟尼は特殊な例外といえる。

② 大人に比べて子どもの世界は「ふしぎ」と「おどろき」に満ちており、子どもは大人から外的事実に関する正しい知識を供給されることで、自らの人生観を少しずつ構築していく。

③ 「ふしぎ」や「おどろき」をからだ全体で受けとめた子どもの頃のかけがえのない濃密な体験は、大人になると、自然科学からする説明の不都合さと相俟<sup>ま</sup>って急速に薄れていく。

④ 外的事実の理解のために近代の自然科学の方法は大いに有効ではあるにせよ、内的事実として形をとって立ちあらわれた物語が無視されると、自分と世界との関わりがつかめなくなる。

## II

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から公表することができません。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から公表することができません。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から公表することができません。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から公表することができません。

えのもとひろあき

(榎本博明『「さみしさ」の力』第3章「つながっていても孤独」による。設問の都合上、本文の一部を改めた。)

問1 二重傍線部ア～ウの語句の本文中における意味として最も適当なものを、次の各群の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選べ。

ア 徒労に終わる

13

- ① 役立つと見せかけて期待はずれであった
- ② 心身ともに疲れ果ててしまうものであった
- ③ 結果としては無駄な骨折りであった
- ④ 自分一人だけの勝手な思い込みであった

イ 四六時中

14

- ① 日中
- ② 終日
- ③ 終夜
- ④ 半夜

ウ 素っ気ない

15

- ① しわんぼうな
- ② ぶつきらぼうな
- ③ 気まぐれな
- ④ 気づまりな

問2 空欄 a 〓 e に当てはまる語の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 16

- |   |   |    |   |    |   |    |   |    |   |    |
|---|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|
| ① | a | 疑似 | b | 接点 | c | 恒常 | d | 課題 | e | 社交 |
| ② | a | 疑義 | b | 接合 | c | 恒久 | d | 問題 | e | 社会 |
| ③ | a | 名義 | b | 近接 | c | 長久 | d | 審問 | e | 会合 |
| ④ | a | 名目 | b | 接近 | c | 長期 | d | 諮問 | e | 投合 |

問3 空欄 A に当てはまる歌集名を、次の①～④のうちから一つ選べ。 17

- |   |     |   |   |    |  |   |      |   |   |      |   |
|---|-----|---|---|----|--|---|------|---|---|------|---|
| ① | 桐の花 | 桐 <small>きり</small> の <small>はな</small> | ② | 赤光 | 赤 <small>しやう</small> の <small>こう</small> | ③ | 一握の砂 | 一 <small>いち</small> 握 <small>あく</small> の <small>すな</small> | ④ | 鍼の如く | 鍼 <small>はり</small> の <small>ごと</small> く |
|---|-----|---|---|----|--|---|------|---|---|------|---|

問4 傍線部B「このような群集の中の孤独は、今どきのSNSがもたらす孤独に通じるものがある」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 18

- ① 孤独感を紛らわすため繁華街の群集の中に溶け込もうとしても他者との一体感を持ってないように、所詮は目の前にいない友だちとつながるのほとんど無理であるくせにSNSにのめり込んでしまうこと。
- ② 繁華街に繰り出し人混みの中に紛れ込むことで癒された孤独感がとどのつまりはさみしさを増幅するように、SNSで癒された孤独感も増幅されてさみしさを泥沼に沈み込んでいかざるをえないこと。
- ③ 群集の中に身を置くことで自らの孤独感を紛らわそうという試みが結局は無駄に終わってしまうように、誰かとながっているのが当たり前のSNSにおいても孤独感が癒されることはないということ。
- ④ 群集の中においては生身の人間に出会えるが、SNSでのやりとりでは眼前の人間の存在感がきわめて薄いという大きな違いがあるにせよ、両者はもともと赤の他人としての他者を対象としていること。

問5 傍線部C「繋つながりが多いからといって孤独感が癒なされることはないようだ」とあるが、その理由として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

19

- ① SNSだとかく簡単に友だちになれるためそんなに親しくないことが多く、心の隙間を友だちの数で埋める感じになってしまふから。
- ② SNSだと何人も人間とつながることができるから、相手から嫌われたり仲間外れにされたりしないために常にやりとりするから。
- ③ SNSでつながることのできる友だちが膨大に増えることで、それらのやりとりを自分から一方的に中断することはできないから。
- ④ SNSでつながる友だちの一人一人と、じっくり向き合って語り合ねばならないという強迫観念に陥ってしまうから。

問6 傍線部D「内面を分かち合いたいという思いは強くても、なかなかそれができない人づきあいの難しさ」とあるが、「ある女子学生」の発言中ではない内容を、次の①～④のうちから一つ選べ。

20

- ① 人づきあいがもともと苦手で、相手の一挙手一投足に敏感に反応し、いつもその場の空気を読んでいる。
- ② 自己中心的な性格であるにもかかわらず過度に相手に対する気配りに長たけ、自分一人が気疲れしている。
- ③ 何でも話し合える相手がほしいという願望が強いくせに、相手に近づくことを用心する気持ちも否めない。
- ④ 友だちとしての理想はほんの気晴らしの話し相手がまずは基本中の基本で、それ以上の友だちは作りたくない。

問7 本文の内容に合致するものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

21

- ① 群衆の中に紛れ込んでも癒されない孤独感は、青年期特有の現象かもしれない。
- ② 自らがいだけ孤独感の背景の根本には、他者に異常に反応してしまう性格的なものが関与している。
- ③ 常に他者とのつながりを持つために、SNSをやめようと思ってもなかなかやめることができない。
- ④ どんなに困難であっても内面を分かち合える友だちを、人はだれしも心の中に希求しているはずだ。

### Ⅲ

次の文章は一九六二年に書かれたものである。これを読んで、後の問いに答えよ。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から公表することができません。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から公表することができません。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から公表することができません。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から公表することができません。

(城夏子『薔薇の小筐』目「愉しき日々」による。設問の都合上、本文の一部を改めた。)

(注) 1 オールドローズ：…灰色がかつたバラ色。

2 鳥の子：鳥の子紙。雁皮・三極をおもな材料とした上質の和紙。

3 先さま：先方(の人)の敬称。あちらさま。

4 ヴェデキント：ドイツの劇作家。『春の目覚め』では思春期の少年少女の、無知ゆえの悲劇を描いて、因習的な性道徳を批判した。

問1 空欄 a d に当てはまる四字熟語の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

22

- |   |   |      |   |                          |   |                            |   |                          |
|---|---|------|---|--------------------------|---|----------------------------|---|--------------------------|
| ① | a | 百鬼夜行 | b | 交換価値                     | c | 戦戦兢兢 <small>きょうきょう</small> | d | 天真爛漫 <small>らんまん</small> |
| ② | a | 阿鼻叫喚 | b | 稀少価値 <small>きしょう</small> | c | 余裕綽綽 <small>しゃくしゃく</small> | d | 天衣無縫                     |
| ③ | a | 神出鬼没 | b | 付加価値                     | c | 興味津津                       | d | 縦横無尽                     |
| ④ | a | 有象無象 | b | 使用価値                     | c | 唯唯諾諾                       | d | 厚顔無恥                     |

問2 本文を四つの意味段落に分けるとすると、第二段落の終わる箇所として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

23

- ① 【I】                      ② 【II】                      ③ 【III】                      ④ 【IV】

問3 空欄 A に当てはまる一続きの語句として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

24

- ① 浪費するために存在するものではない  
② 浪費するために存在するものではない  
③ 浪費しないために存在するとはいえない  
④ 浪費しないために存在しないとはいえない

問4 傍線部B「自分の好み、自分の持ち味を買われないのなら、それも仕方がないわと、のっそり構えている」とあるが、そのような態度として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

25

- ① 世の中の一時的なブームに対して興味がないわけではないが、ブームそのものに必ずや訪れる終焉しゅうえんを思うとむなしとする態度。
- ② 若いころから取るに足りない作品ばかりを書き散らしてきたので、老年となった今それを改めることはできないとする態度。
- ③ 自分には自分なりの、他のものからは得られない独自のよさがあるはずであり、一時的なブームに乗ってもむだであるとする態度。
- ④ 老年に足を踏み入れた自分が年がいもなく若ぶって、乗れもしないはずの一時的なブームに乗ろうとするのは見苦しいとする態度。

問5 傍線部C「オカネ恐怖症」とあるが、その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

26

- ① 自分の作品を売り込むために時流に合わせる事がなかなかできない結果、収入が目減りして家計が逼塞ひっせきに甘んじていること。
- ② 自らの自尊心が侵されない限り、オカネそのものは無いよりはあったほうがましであるが、なかなかそれを口外できないこと。
- ③ オカネに関して必ずしも思いどおりになれない生活に慣れた自分からすれば、収入の上昇は予想するだに怖いということ。
- ④ 長い歳月にわたりオカネとは縁のなかった自分にとって、利益を上げようと日夜励んでいる人たちは怖いとしかいえないこと。

問6 傍線部D「あッ、確かにわたしは借金の名人だわ」とあるが、そのときの筆者の心情として最も適当なものを、次の①～④のうちから

一つ選べ。

27

- ① 自分の借金のしかたは、こちらから切り出した借金とはちがひ、むしろ相手が進んで貸してくれるものである。
- ② 自分の借金のしかたは、世の中で言うところの生々しいなまなまものではなく、貸し借りがごく事務的になされるものである。
- ③ 自分の借金のしかたは、不如意な生活ぶりをそれとなく相手に見せつけることによつて同情を買うことから始まる。
- ④ 自分の借金のしかたは、必ず返済の意思を提示することによつて相手の信用を得るといふ前提が重要である。

問7 本文の表現や内容に合致するものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

28

- ① オカネという微妙な話題を、作家生活におけるそのときどきの場面を示すことによつて、決して明るくとはいえない自らの未来を予告している。
- ② オカネという微妙な話題を、ときに自虐的な表現で自分を笑い飛ばし、ときに抒情的な表現じよじようで自らのつましい生活をいきいきと表現している。
- ③ 借金を繰り返しながらもまったく悪びれようとはしない自分に愛想あいそを尽かしているように見せては、オカネへの執着を断てない自分にあきれている。
- ④ 実は生々しいオカネにまつわる話題を、自分をまるで他人事ひとことのように戯画化することで和らげ、借金の現場における駆け引きの妙を表現している。

